

私はひとかけらというテーマで計画を行いました。

多様な性格を持つ街区を細かく分割することで、各場所が持つ固有の価値を見出します。そして、その境界が道として繋がることにより、賑わいが計画街区全体から街区外、須坂市全体へ広がっていきます。

はじめに、街区の現状を現地調査や資料から分析し、1つ以上の空地か広場と1つ以上の空き家か倉庫を含み、かつ複数の小区画と接することをルールに街区を小区画に分割します。さらに、小区画を主観的視点と客観的視点から分析し、それらから連想されるテーマに沿って、小区画それぞれの計画を行います。

3年後のステップ1では、手のつけやすい4箇所で空き家から空き地の順に共有空間を計画します。

10年後のステップ2では、街区内で空き家や空き地が増加することも想定しつつ、ステップ1同様に共有空間の計画を空き家から空き地の順に行います。

30年後のステップ3では、ステップ1,2同様に共有空間の計画を空き家から空き地にかけて行うと同時に、小区画の境界が道となって繋がっていきます。

そして、その道でライトアップなどの目的を持った活動が行われることにより、人々の動き、賑わいが街区の外にも広がっていきます。